

2023年11月16日

鹿児島大学病院 で

尿道がんの治療を受けた患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

原発性尿道癌の治療実態と予後に関する研究

【研究の目的】

原発性尿道がんは稀ながんであり、発生頻度は人口 100 万人あたり 1.1～1.5 人とされています。尿道がんの組織型は尿路上皮癌、扁平上皮癌、腺癌など様々で、確立した診断方法および治療方法はないのが実状です。本研究の目的は、尿道癌に対する診断および治療実態（手術療法、放射線療法、薬物療法など）や生命予後を把握し、予後に関する因子の探索を行うこととなります。

【研究の方法】

本研究における調査にあたっては該当する患者さんの臨床情報を診療録（カルテ）より取得します。得られたデータを匿名化して症例調査表（CRF、電子ファイル）を作成します。CRF は研究代表機関である山口大学附属病院泌尿器科

に送り、データを収集・解析を行います。その結果を用いて診断方法の改善やより良い治療法を確立することを目的としています。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2024年12月31日

【対象となる患者さん】

2004年1月1日から2022年12月31日までに、鹿児島大学病院泌尿器科で尿道がんと診断され、治療を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

患者情報（年齢、性別、既往歴、血液検査結果など）

腫瘍情報（組織型、悪性度、深達度など）

治療内容（手術療法、薬物療法、放射線療法など）

治療効果（最良治療効果、無再発生存期間など）

予後（再発日、最終観察日など）

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 橋口 照人

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

山口大学医学部附属病院泌尿器科 白石 晃司

香川大学医学部附属病院泌尿器科・副腎・移植外科 田岡 利宜也

広島大学病院腎泌尿器科学 日向 信之

奈良県立医科大学附属病院泌尿器科 三宅 牧人

鹿児島大学病院泌尿器科 鑪野 秀一

大阪医科薬科大学病院腎泌尿器外科 東 治人

大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科 加藤 実

高知大学医学部附属病院泌尿器科 福原 秀雄

徳島大学病院泌尿器科 高橋 正幸

島根大学医学部附属病院泌尿器科 和田 耕一郎

【当院の研究責任者】

鹿児島大学病院泌尿器科 鑪野 秀一

【本研究全体の研究代表者】

山口大学医学部附属病院泌尿器科 白石 晃司

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 橋口 照人

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科泌尿器科学分野の研究費（用途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講

じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

(住所) 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1

(研究機関名) 鹿児島大学病院

(研究担当者の所属・氏名) 泌尿器科・鑪野 秀一

(電話) 099-275-5395